

# 総務常任委員会の記録

(防災安全課)

招 集 年 月 日	令和6年9月3日(火)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	9月4日(水) 午前 9時30分
閉 会	同 上 午後 10時 7分
出 席 委 員	山石 恭助、山崎 匡、加藤 康幸、森岡 健治、赤松 紀幸、 安西 博文、山田 寛二
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の ため 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 中井 和彦、課長補佐 山本 和幸
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 森本 秀行、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 認定第1号「令和5年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定に ついて」

山石委員長	<p>認定第1号「令和5年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について、防災安全課所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
中井課長	<p>認定第1号 令和5年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定のうち、歳入該当分、歳出2款、総務費該当分、9款消防費について、成果説明書を中心に説明します。</p> <p>成果説明書20ページ、決算書23ページ下段、2款総務費、1項総務管理費、3目無線放送施設費の決算額は、14,093,266円となっています。</p> <p>成果説明書1の松野町防災行政無線外部受信設備等撤去処分工事については、IP告知放送システムへの一本化に伴い、防災行政無線の難聴地域に設置していたアンテナ等を撤去するもので、工事請負費6,426,000円を支出しております。</p> <p>また、2の防災等情報伝達設備更新実施設計業務委託料については、屋外放送施設の老朽化に伴う設備更新に必要な調査・設計業務の委託料として6,864,000円を支出しております。</p> <p>なお、財源については、緊急防災・減債事業債6,800,000円を充当しています。</p> <p>成果説明書32ページ、決算書26ページ上段、9目交通安全対策費の決算額は、4,522,270円となっています。</p> <p>1の交通安全推進運動については、交通安全の強調期間である春と秋の全国交通安全運動において、鬼北交通安全協会及び町内3支部の役員と交通安全指導員にご協力いただき、人の輪作戦、街頭指導を実施しました。また、虹の森公園前の国道においては、桃太郎茶屋を実施するなど、交通安全の普及・啓発活動を展開しました。</p> <p>2の交通安全施設の整備状況については、各部落に設置しております、町管理の街路灯の更新にかかる費用574,200円とカーブミラーの新設、更新にかかる費用633,050円を支出しています。</p>

また、部落管理分については、部落から要望があった街路灯3基を新設するとともに、街路灯17基を更新し合わせて511,720円を支出しております。

次に、3の宇和島警察署鬼北交番管内交通事故発生状況については、町内では1件の事故がありましたが死傷者はなく、交通死亡事故ゼロ日は、3月末時点で3,144日となり、現在も継続中であり、引き続き、交通安全の普及・啓発活動に努めて参ります。

5の高齢者運転免許証自主返納支援事業については、申請者は新規7人、更新39人の計46人で、補助金20,475円を支出しています。

6の高齢者安全運転支援装置設置事業費補助金については、令和4年度からの取り組みで、高齢者のペダル踏み間違いによる事故を抑止するための装置を設置するもので、それに係る経費の一部を補助するものです。令和5年度は2名の申請があり60,000円を支出しています。この補助制度につきましては、高齢化率が高い本町にとっては有効な事業だと考えておりますので、引き続き、住民への周知を進めて参ります。

成果説明書33ページ中段、決算書26ページ中段、11目諸費の当課所管分としましては、5の自衛隊募集事務委託金として、パンフレットスタンド18,920円を支出しており、財源として自衛隊募集事務委託金18,000円を充当しています。

また、6の宇和島地区防犯協会に対する補助金として、683,000円を支出しています。

成果説明書36ページ、決算書27ページ下段から、16目情報通信基盤施設管理費の決算額は、129,750,346円となっています。

1の鬼北地域情報通信基盤整備事業の推進については、事業の連携主体である鬼北町に対し、負担金として令和3年度繰越分31,480,000円、令和4年度繰越明許分37,626,12

0円、令和5年度分59,309,946円をそれぞれ支出しております。

なお、財源については、令和3年度事故繰越分は過疎対策事業債31,400,000円を充当し、令和4年度繰越明許分37,100,000円及び令和5年度分48,300,000円は、緊急防災・減債事業債を充当しています。

成果説明書88ページ、決算書51ページ中段、9款消防費、1項消防費、1目非常備消防費の決算額は、16,114,794円となっています。

1の消防団員及びポンプ等の配置状況については、令和6年3月末現在で、団員数は昨年度から5人減の148人となり、そのうち女性消防団員は4人です。各部における車両及び機器の配備状況については、お目通しください。

3の昨年度の災害発生状況及び消防団員出動状況については、火災が2件と捜索が1件ありましたが、地元消防団を中心とした対応により、最小限の被害に収めることができました。

4の訓練会等主要行事は、出初式や夏期訓練といった主要なものにおいては、感染症対策を行ったうえで実施しました。

5の各種表彰については、多年に亘り活躍された団員に対して、日本消防協会長表彰をはじめとする各種の表彰が授与されております。

成果説明書90ページ、決算書51ページ下段、2目消防施設費の決算額は、34,187,357円となっています。

1の委託料の内訳としては、(1)登記調査測量委託料として、町内4箇所の耐震性貯水槽新設工事に係る委託料1,246,357円を支出しています。(2)設計監理委託料としては、第1分団第2部(延野々)の消防車庫及びホース乾燥柱建設工事に係る委託料1,320,000円を支出しています。(3)測量設計委託料としては、耐震性貯水槽新設工事に係る委託料1,160,000

円を支出しています。

次に、2の工事請負費については、消防車庫及びホース乾燥柱建設工事13,255,000円及び繰越となった耐震性貯水槽新設工事4件の前払金17,100,000円を支出しています。

なお、財源については、消防車庫及びホース乾燥柱建設工事に係るものについては、緊急防災・減債事業債14,500,000円を充当し、耐震性貯水槽新設工事に係るものについては、一般補助施設整備等事業債17,600,000円を充当しています。

また、参考資料として、各部落における防火水槽の設置状況を取りまとめておりますので、お目通し下さい。

3目水防費については、0円決算です。

成果説明書は91ページ、決算書52ページ中段、4目災害対策費の決算額は、7,632,571円となっています。

1の能登半島地震被災地支援については、国の対口支援の派遣要請に基づき、愛媛県被災地支援連携チームの一員として、計3回、12名の職員が輪島市の避難所運營業務の支援を行い、人件費等2,405,869円を支出しました。また、物的支援として、株式会社大塚商会様より、企業版ふるさと納税で寄贈いただいたポータブル水循環シャワー設備1基も輪島市三井公民館において、避難者の方にご利用いただきました。

2の備蓄物資の整備については、避難所用備蓄物資として、非常食、保存水を新たに購入し444,214円を支出しております。

また、福祉避難所として認定したフレンドまつの機能強化のため、県補助金を活用し、備蓄倉庫及び備蓄品の整備費用として415,703円を支出し、財源については、福祉避難所機能強化・整備促進事業費補助金136,300円を充当しています。

6の防災士資格取得受講負担金につきましては、頻発する大規模災害時における地域のリーダーを養成することを目的とした取り組みで、21名の申請があり受講負担金として、168,000円を

	<p>支出しております。今後は地域の防災士として活動していただくことになっていきます。歳出については、以上であります。</p> <p>また、歳入につきましては、成果説明書の中で併せて説明いたしましたので、省略させていただきます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>よろしく御審議いただき、ご承認賜りますようお願いいたします。</p>
山石委員長	<p>担当課長の説明が終わりました。委員からの質問を許します。</p>
山崎委員	<p>先ほど報告いただきました高齢者用のブレーキのアシストの補助のことなのですが、2件の申請があったということなんですけども、装置をつけるのに幾らぐらいかかって、そのうちのどれぐらいが補助の対象となるのかっていうのをお聞きしたいと思います。</p>
中井課長	<p>ブレーキアシストの事業の補助内容といたしましては、今回申請いただいた方の装置については、約5万円から10万円と開きはございますが、補助率が3分の2で、上限が3万円となっております。2件ともその上限に達しましたので、それぞれ3万円の補助金を支出しております。</p>
山崎委員	<p>2件という数字に関しては、何か受け取り方はあるんですか。しっかり告知が行き届いてたのかどうかっていうことが、少し疑問に思ったりするんですけども、その辺についてお答えしていただきたいと思います。</p>
中井課長	<p>今おっしゃられました2件という数字につきましては、当課としましては、非常に少ないといえますか、周知をしているにもかかわらず、実績ができていないととらえております。そういったことから、昨年度は、UCATでのCM放送ですとか、広報誌によるPR活動、そういったものを行っておりますが、継続的に新たな取り組みなどをやりまして、その申請者数をもっと増やしていきたいと考えております。</p> <p>ただし、現在の新しい車というのは、すでに最初から安全機能が</p>

山崎委員	<p>ついた車も多く見られることから、そういった面で多くの申請を望むことは難しいかもしれませんが、それでもやはり、今、安全装置がついてない車をご利用の方はまだまだいらっしゃると思いますので、今後も引き続き周知の方を進めていきたいと考えております。</p> <p>告知の方、しっかりしていただいたらというふうに思います。</p> <p>それともう1つ、財源のところでは緊防債といわれているものを財源とされてると思うんですけど、これというのは、今から先も継続的にずっと財源としてはあるんでしょうか。その辺ちょっとお伺いしたいと思います。</p>
中井課長	<p>緊防債につきましては、国の措置によりまして、ひとまず令和7年度が区切りとなっております。そこから延長されるかは、まだ私も自治体の方には結果が降りておりませんので、緊防債を今後使っていくかということについては、今はお答えができないところです。</p> <p>ただ、令和7年度までにつきましては、過疎債と同様、非常に優良な起債でありますので、防災に係る事業につきましては、有効に使わせていただけたらと考えております。</p>
安西委員	<p>備蓄品購入に44万4千円余りを使われておりますが、この備蓄品というのは何を買われて、またそれはどこに保管しているのか、また、期限が来た備蓄品については、廃棄やなしに有効活用されているのか、お伺いをいたします。</p>
中井課長	<p>備蓄品につきましては、内容につきましては調理不要のご飯ですとか、保存水、これは賞味期限5年のものでありますが、これをローリングストックするために各指定避難所の方に、順次計画的に整備をしているところでございます。</p> <p>活用方法でございますが、新しいものについては有事の際に備えて、備蓄品として置いておきますが、もう賞味期限が1年を切るようなもんですね、そういったものが出てきた場合は、地域で行われる自主的な訓練活動において使っていただいて、それでなくなった</p>

<p>赤 松 委 員</p>	<p>分について、計画的に補充をしていくということを繰り返していき たいと考えております。</p> <p>まず1点お聞きしたいのは消防団員数のことですが、団 員の確保については大変苦勞されておられると思いますが、今回も 前年度が団員数が153名、前年であったんですが5名減って、1 48人という報告がありますが、団員の条例定数は松野町の場合2 00人になっているわけですが、自治体ではその定数を減 員したりしているような町村も見受けられるわけですが、 本町の場合はずっと定数200名ということで今日まで推移をして きておりますが、そこら辺の定数と団員数との関係、何か考え方が あれば御説明を願いたいと思います。</p> <p>それから次が2点目ですが、企業版のふるさと納税で大 塚商会様より屋外シャワーキット一式やポータブルの手洗いスタン ドやポータブル電源等の物品をいただいているわけですが、 その利用方法を管理等はどのようにされているのか、お伺い をしたらと思います。</p> <p>それと、能登半島の地震の復旧がなかなか進まない状況にありま して、もし南海トラフ地震が発生すれば、愛媛県も地形や人口、産 業等が能登と大変似ているとよく言われているわけですが が、そのような中で本町からも職員が被災地の支援に派遣をされて おります。そのような中であって、南海トラフ地震を想定したとき に、今後取り組む課題とございますか、そのようなものを考えておら れるのであれば、お伺いをしたいと思います。</p>
<p>中 井 課 長</p>	<p>まず消防団員の定数と団員につきましては、もう長年の問題とし まして団員確保の問題が出ております。</p> <p>調べてみますと、ここ10年で18名ほど減となっております。 そういったことで、団員確保の手だてについても、いろいろと幹部 会を始め検討しているわけですが、質問にございましたように、定 員の見直しについても、昨年度あたりから検討の方を始めていると</p>

ころです。ただし、県内の状況を見ますと、定員に対する団員数充  
当割合と申しますか、それを見たところ、松野町におきましては、  
まだそれほど下位ではなくて、当町よりもまだ充当率が低い市町も  
ございますので、そういった団員確保に苦勞されている市町とも、  
ちょっと情報共有などをさせていただいて、今後、定数の見直し等  
についても話し合いを進めていけたらと考えております。そして、  
そういったことを消防団の幹部会とかにおろしていけたらと考  
えております。

次にふるさと納税でいただきました水循環式のシャワーと、手洗  
い器につきましては、循環器につきましては、6月ごろに能登半島  
の方から帰ってきまして、これはあくまでも町の緊急時の備蓄品と  
して、今、町の方で備蓄をしております。手洗い器につきましては、  
コミュニティーセンターと吉野生交流センターに寄贈いた  
だいですぐ設置しておりますので、またそちらの方で、確認いただき、  
実際に使っていただいたらと思っております。

最後の大規模災害時における、その課題としましては、今回ご質  
問いただきました、備蓄品などにおきましても、今までの備蓄品に  
つきましては、いわば、必要最低限度と言ってはちょっと言い過ぎ  
になりますが、過去の実績によって必要ではないかという、備蓄品  
の整備をして参りましたが、能登半島地震や、全国で起こっている  
地震を見ますと、最大限の被害が発生したときに必要な備蓄品や施  
設の整備、避難所の整理といったことが今後の喫緊の課題と考  
えておりますので、そういったことを愛媛県の危機管理部局ですとか、  
他市町の担当者と情報交換をしながら、解決に向け進めていき  
たいと考えております。

赤 松 委 員

第1点の消防団員の定数条例ですが、定数を減らすことによ  
って、何か財源、財政的に問題があるのか、そこら辺をお聞きしたい  
と思いますが、もし、それを減らすことによって交付税とか補助金  
等に支障があるのであれば、あまり数字を変えるわけにはいかない

と思うんですが、そこら辺お伺いをしたらと思います。

それから、能登半島の地震の被害を想定して考えられることによく言われておるのが、避難所でのプライバシーといいますか、そこら辺も近年は言われるようになってきておるわけですが、本町の場合、避難所におけるプライバシーというか、そこら辺の準備等、備品等は、準備はされているのか、またどのように考えられているのかそこら辺をお聞きしたいと思います。

八十島副町長

それでは先ほど赤松委員からご質問がありました、消防団員の定数の見直しに係る財政への影響っていうことなんですけれども、これは普通交付税の基準財政需要額のうち、消防費の算定の中で、測定単位、いわゆる基礎数値の一番もとになるものが、消防定数であります。これを今200で算定してるものを半減すれば、もちろん交付税で算入にされるものも半減されるわけですので、基本的に見直しについては、実数と定数の乖離っていうのはそのままほったらかしにするわけにはいかんと思うんです。

ただ、これは全国各自治体の状況等々も合わせてですね、これは全体的な見直しが必要で、そうなれば消防費自体、条例定数を下げることによる影響額を今度補正係数で補っていただくような、いわゆるそういった要望を国へ出さなければ、当たり前正直に落としてしまうと、これが大きくうちの財政にも影響を及ぼすこととなりますので、ここら辺はやはり各自治体と連携をしながら、情報交換をもって、どういうふうな扱いが適切なのか、そういうことは愛媛県も含めてですね、これは取り組まなければならない課題だと考えております。

今ちょうど消防の方でも、やはり今のかなりの乖離について、どうすべきであるかという検討も進めていただいておりますので、こちら側も慎重にその内容を検討しながら、この問題については考えていきたいと思っております。

中井課長

続いて私の方からは、プライバシーに対する町の備蓄状況でござ

	<p>いますが、当初におきましては、プライバシー確保ができるものとしましては、現在、段ボールの間仕切りと段ボールベッドを各避難所に配置はしているものの、数的には足りていないと考えております。こういったことから、今後につきましては、段ボールベッドや段ボール間仕切りにつきましては、スペース的にも2人が寝泊まりするのがやっとで、パーティションの高さにつきましても腰ぐらいまでと、プライバシーが守れているとはちょっと考えにくいような状態でありますので、今後は、よく報道などで避難所の様子が映されるときに見ることがあると思いますが、テントタイプの設置も簡単なタイプのものがございます。できましたら、段ボールベッドや間仕切りから、そういったテントタイプへの移行をしていきたい、計画的に移行していきたいと考えておるところでございます。</p>
赤 松 委 員	<p>まず1点目の消防団の定数関係でございますが、財政的にデメリットがあるのであれば、十分に考える必要があると思われまので、そこら辺今副町長が言われましたように、この定数を減少するのであれば、そこら辺十分に協議検討、研究をされて実施をしていただきたらと思います。</p> <p>それから、今言われた避難所におけるテントでございますが、私もテレビ等で見たことがございますが、あれは大変プライバシーも守れていいものと思います。そういうものもぜひ取り入れて、今後万一の場合に備えていただきたらと思います。</p>
山 田 委 員	<p>今までの方と重複したり、同じような内容になるところもあるかもしれませんが、災害のときの対応として、能登地震のときに、いろんな生活の中で、水と食料とトイレがちょっとなかなか確保が難しかったというのを聞いてまして、その中で水について先日伺ったときに、水の確保について、使っていない井戸を活用するというのをちらっと聞いたんですけど、その点について、どのように今後やろうとしてるのか、具体的な取り組みについて、教えていただきたらというふうに思います。</p>

中 井 課 長	<p>ただいまの未利用井戸の今後の進め方につきましては、町の広報紙等を通じまして、住民の方に呼びかけをさせていただいたところ、多くの情報をいただくことができました。大変ありがたく思っております。</p> <p>そういったことで、今後につきましては、今回情報をいただいた方のご自宅といいますか、使っていない井戸の方を、現地確認させていただきまして、所有者の同意を得るようでしたら、災害時の井戸として登録できるように補助制度を創設しまして、手動式のポンプですね、これを設置して、できれば各地域に数ヶ所ずつぐらいのペースでできればいいんですが、そういった流れで未利用井戸の整備を進めていきたいと考えております。</p>
山 田 委 員	<p>すでにそういうふうを考えられてるということなんですけど、具体的にはスケジュールとして、いつからどのような順番でとか、順番というかどっからやるとかですね、そういう具体的な、なるべくいつ災害が起こるかわかりませんので、できれば早くそういうのが対応できとったら、備えあれば何とかということになると思いますので、なるべく迅速にできるような方法でお願いしたいのですが、もし具体的なスケジュールがあれば教えてください。</p>
中 井 課 長	<p>今後のスケジュールにつきましては、できましたら、年度内に情報をいただきました場所につきまして、一通りは、現地の方に確認させていただきたいと考えております。そして、もしそのあたりで準備が間に合うようでしたら、来年度予算とか、できれば当初予算、間合わなくても補正予算といった形で実際に移行できるように、今後、スケジュールを詰めていきたいと考えております。</p>
山 田 委 員	<p>今、回答いただきましたように年度内にできればということですので、その点で進めていただいたらと思うんですけども、先ほども聞いたんですよよかったんですが、箇所としてどれぐらいありそうでしょうか。</p>
中 井 課 長	<p>当課の方に連絡をいただいた正式な数としては、20数ヶ所ござ</p>

山 田 委 員	<p>いますが、それ以外にも近所のどこどこにもありますよとか、いった情報もかなりありますので、数的には、こちらが想定していた数よりも大分あるのではないかと考えております。ちょっとその辺りにつきましてはまた、取りまとめいたしまして、報告をさせていただいたらと思います。</p> <p>たくさんの井戸があるということですので、できるだけ水質検査とかもして、飲める水ということで確保していただければというふうに思います。</p> <p>今後、そういうスケジュールに沿ってまた取り組んでいただければというふうに思います。よろしくお願いします。</p>
山 石 委 員 長	<p>そのほか質問はありませんか。</p> <p>質問が無いようであれば、採決に移ります。</p> <p>ただいま審査しております、認定第1号について、原案のとおり御承認いただけますか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
山 石 委 員 長	<p>賛成全員です。</p> <p>したがって、認定第1号「令和5年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について」、防災安全課所管分は、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。</p> <p>会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年11月7日</p> <p>松野町議会総務常任委員会委員長 山石 恭助</p>